

教育プログラム・コースの概要

大学名等	神戸大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	がん放射線療法インテンシブコース						
対象職種・分野	近畿圏でがん診療に携わっている医療関係者						
修業年限(期間)	1年						
養成すべき人材像	放射線療法に関連する医師・診療放射線技師・看護師等の幅広い医療職を対象とし、小児・AYA世代～高齢者まで各々の患者に対して最適な放射線治療(根治的放射線治療、緩和的放射線治療)に精通する人材を養成する。 多職種連携による集学的な痛みの治療の中で、緩和的放射線治療の適応を適切に提案できる人材を養成する。						
修了要件・履修方法	実習40時間(4週間) 実際の症例を用いた症例検討(症例検討会1時間×4回以上) 腫瘍学Ⅰ基礎講義(医療現場・学際領域)、腫瘍学Ⅱ横断講義(予防・研究開発)(希望者)(24時間以上の実習出席をもって修了認定とする)						
履修科目等	腫瘍学Ⅰ基盤講義(医療現場・学際領域) 2単位 腫瘍学Ⅱ横断講義(予防・研究開発) 2単位 実習 40時間以上 がん放射線療法に関する実践的症例検討(4時間以上)						
がんに関する専門資格との連携	放射線治療専門医(日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会)の研修施設として認定。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	近畿圏でがん診療に携わっている医師を対象に、がん診療に必要な臨床腫瘍学、放射線腫瘍学の最新の知識と技能の修得を目的とする。 腫瘍学Ⅰ基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ横断講義(予防・研究開発)を履修し、大学病院あるいは連携病院において、放射線腫瘍学の実習を4週間実施する。修了者には、がん専門医師研修(インテンシブ)コース修了証を授与する。						
指導体制	高い専門性を持つ放射線治療スタッフ(放射線治療専門医、医学物理士等)、および関連診療科の専門医による指導体制が準備されている。粒子線治療施設(兵庫県立粒子線医療センターや神戸陽子線センター)や都道府県がん拠点病院(兵庫県立がんセンター)との教育連携を行う。 がん治療に関連する多職種の現場を体験し、相互協調、相互理解を促進する。						
修了者の進路キャリアパス	本コース終了後は、所属先施設の地域において、放射線治療の普及、均てん化、質的向上、教育に関して指導的役割を担う人材となることを期待する。また、本大学大学院修士や博士課程に進学し、さらに研鑽を積むきっかけとなることも期待している。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	過去のニーズ調査から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を6人と設定。						